

実施計画事業名		大学教育振興事業		評価対象年度	平成 22 年度			
評価担当部署		教育部 教育総務課		課長(主幹)名	藤島峰幸			
総合計画体系	分野	1	教育・文化					
	政策	2	時代に即した学校教育の推進					
	施策	4	高校・大学教育の振興を図ります					
	関連施策							
現状と課題	「稚内北星学園大学」は、本市の高等教育機関として、昭和62年に公設民営方式で短期大学(経営情報学科と英文科)として開学し、平成12年に4年制に改組転換を図った。市民講座の開設などにより学生以外の市民への生涯学習の機会の提供を行うとともに、新たに地域創造学科の開設や昼夜開講制度を導入するなどの取組を行っている。しかし、少子化や保護者の経済状況の悪化から、入学者が減少傾向にあり、特にここ数年は本市出身の入学者が少ない状況にある。							
目的	地域に唯一の高等教育機関として教育を行うとともに、大学の持つ知的財産や教育設備を地域へ開放・還元してもらい、地域に有益な人材を育成する。そのため積極的な学生確保を図るための経済的援助を行い大学進学への環境を整備する。							
5ヶ年展開の	①修学資金の貸付を行う。 ②市民を対象に育英金を支給する。 ③市民への学習意欲の高揚と、地域産業との連携を支援する。							
成果指標	名称		単位		21年度	22年度	25年度	
	市内校からの入学者数の割合		%	目標	40.0 (45.0)	45.0 (50.0)	60.0 (65.0)	
説明	市内校(宗谷管内含む)からの入学者数 / 稚内北星学園大学に入学者数			実績	43.0 (48.0)	60.4 (64.6)		
活動指標	名称		単位		21年度	22年度	25年度	
	稚内市大学修学資金の貸付を受ける学生数		%	目標	40.0	40.0	40.0	
	説明	稚内市大学修学資金貸付条例に基づく貸付を受けた学生数(新規貸付者のみ)			実績	35.0	31.9	
	市内定着率		%	目標	30.0	30.0	45.0	
	説明	市内就職者数 / 卒業者数			実績	32.0	31.8	
	市民の参加が可能な事業の開催回数		回	目標	12	12	15	
	説明	1年間で、コンサート、市民講座など、学生以外の市民の参加が可能な事業の開催延回数			実績	12	11	
稚内市大学育英金の支給人数		人	目標	10	20	30		
説明	稚内市大学育成金支給条例に基づく支給を受けた学生の実人数(新規)			実績	10	21		
事業費の実績		単位	21年度 (決算)	22年度 (評価年度決算見込)	23年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)	千円	195,566	230,567	207,566			
	国庫支出金	千円	0	9,364				
	道支出金	千円	0	0				
	起債	千円	0	0				
	その他	千円	0	7				
	一般財源	千円	195,566	221,196	207,566			
	この事業にかかる職員数	人/年	1.50	1.75	1.55			
人件費(B)	千円	10,389	11,884	10,526				
計(A+B)	千円	205,955	242,451	218,092				
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	<b>a</b> a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか <b>b</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> 大学修学資金貸付金は卒業後10年以内の長期返済となっているが、卒業後の状況の変化等にも対応できるよう段階的な返済など柔軟な対応に努める。
	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか <b>a</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか <b>a</b> a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	<b>A</b> 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 今後においても積極的な学生確保のための経済的援助を行い、大学進学への環境の整備を図る。

【2次評価】

成 果	<b>a</b>	細事業の構成	<b>b</b>	細事業の進め方	<b>a</b>	コスト効率	<b>a</b>
総 合 評 価	<b>A</b> 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおり取り進めること。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--